



## 歌声を響かせた！三泗小学校音楽会（4・5年生）



11月17日（金）、文化会館第1ホールで行われた三泗音楽会（午前の部）に、4・5年生が参加し、合唱曲「涙をこえて」を発表しました。「涙をこえてゆこう 輝くあした見つめて♪」大舞台上で少し緊張しながらも、堂々と力一杯歌い上げ、ホール中に爽やかなハーモニーを響かせて、場内から大きな拍手をもらいました。



場内は撮影禁止。  
写真は全て小山田地区文化祭（11月5日）のときのものです。



この日のために、4・5年生は、教室や体育館で繰り返し練習してきました。輪になってパート練習をしたり、体育館の壁に向かって声を遠くに飛ばすイメージで個人練習をしたりしました。そして、地声にならないように声の出し方に気をつけ、特に上・下のパートのバランスに注意しました。本番は、その成果を十分発揮しました。

他校の発表も、スペシャルゲストの栗コーダーカルテット（TV「ピタゴラスイッチ」のテーマ曲などで有名）の演奏も聴きごたえがあり、音楽のすばらしさ、楽しさにふれることができました。



## 1年生 給食試食会

11月9日（木）に29名の保護者をお招きして、1年生給食試食会を実施しました。例年、給食配膳の様子や、子どもたちがどのような給食を食べているのかを皆さんに知っていただきたく催しています。

試食会の前には、本校の栄養職員の中山から「給食はどのようにできているか」「普段の学級での給食の様子」「朝食の必要性」などについてお話させていただきました。

この日の給食献立は、「手巻きごはん（納豆肉みそ、ツナサラダ、卵焼き）、牛乳、すまし汁」でした。手巻きごはんは、年に1・2回程度しか給食に出ない珍しい献立です。1年生も初めて食べる給食メニューで、好きな具を巻いてとても楽しそうに食べていました。

今回の試食会を通じて、普段お話できない保護者の皆さまといろいろなお話ができて、とてもよい時間となったと感じています。お忙しい中、給食試食会に参加していただいた保護者の皆さま ありがとうございます。（中山）



## 火事になったらどうする？～防火教室（4年）～

4年生が、10月24日（火）の5・6限目に、南消防署の消防士お二人を招いて防火教室を行いました。まず、視聴覚室で、消防士のお仕事、火事の原因、火事になったときどうするか、などについて詳しくお話を聞きました。油についた火を水で消そうとして、逆に燃え上がってしまう驚きの実験も見せてもらいました。

その後、昇降口に移動して、水消火器体験や煙体験を行いました。もし、火事になったらどうするか、体験をまじえてしっかりと考えることができました。



消火器は、ピン（ピンを抜く）・ボン（ホースを外しねらう）・パン（放水する）と覚えよう！



# おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信

やったあ！ だいじょうぶ？



めっきり  
寒くなりました

小山田小学校長

## みんなの力作がそろった!! 小山田小作品展

小山田っ子の作品をより多くの地域の方に見ていただきたい！そこで、今年度から小学校で行われることになった小山田地区文化祭に合わせて、11月2日～11月8日に、本校の図工室を会場として小山田小作品展を開催しました。

平面作品や立体作品など、どの学年も力作がそろいました。参加された方からは、「みんなとても工夫がしてあり、すばらしい作品ばかりでした」「想像力豊かで感心しました」などの感想をいただきました。

期間中に、各学級でじっくりと鑑賞する時間を設けました（下の写真は6年生）。いろいろな友だちの作品づくりの工夫やユニークな表現などにふれることで、今以上に図画・工作を好きになり、表現活動に興味・関心を持つようになってほしいと思います。



また、今年度は西陵中の生徒の作品もお借りして展示しました。中学生の作品を鑑賞した児童は、皆一様に「すごい！」「よくここまで描けるな！」などとビックリしていました。特に、小山田小を卒業した自分たちがよく知っている先輩の作品を見て、「前から上手だと思っていたけれど、1年を経てさらに上手になっている！」と驚きとともに、強い憧れを感じていました。美術部が関宿に出かけたことを知り、「わざわざ遠くまで出かけて作品づくりに取り組むんだ！」と驚いている児童もいました。



## もしも、サルに出会ったら…

さる11月16日（木）の朝、「サルの群れがいて登校できません！」と西山・美里方面の集団登校班から学校にSOSが入りました。さっそく光広先生と私（森本）が現場（小学校と西陵中の中間くらい）にかけつけました。群れは見えなくなりましたが、一匹の大サルが通学路の真ん中にデンと腰を下ろし、周りを威嚇していました。2人でサル撃退用の花火（正式には「動物駆逐用煙火（T-3）」）をサルの潜んでいる森に向けて打ちました。その結果、見事、サルたちがその場をたち去るように音と閃光で驚かすことができました。

その間ずっと、作業服姿の男の人が乗った1台の軽自動車近くにとまっていた。後で、その方に話を聞くと、「菰野の方へ仕事に行く途中、子どもたちが立ち往生しているのと、サルがいるのを見つけたので、少し引き返してここで見守っていました」とのこと。子どもたちの危険を放っておけないという思いで、お忙しい中、引き返していただいた思いやりの行動には、本当に頭が下がります。見ず知らずの方ですが、感謝申し上げます。

さて、今年は、サルやイノシシなど人間にとっては危険な野生の動物たちが例年以上によく出現するように思います。

もし、サルに出会った時はどうすればよいのでしょうか？四日市市のHP「市街地でのサルの出没に対する注意点」には、次のように紹介されています。

- (1) 近づかない・刺激しない  
追い払おうとむやみに近づいたり、棒などを振り上げたり、大声をあげたり、からかったりするなど刺激をされると逆襲される恐れがあります。
- (2) 目を合わさない  
目を合わせると威嚇されたと思い、視線をそらした時に襲われる恐れがあります。
- (3) サルを確認しながら、後ずさりして離れる  
背中を見せると、とびかかってくる恐れがあります。
- (4) 食べ物を見せない・与えない・生ごみなどを放置しない  
餌付けをすると、人に慣れ、定着する恐れがあります。

